

電力システム事業の強化について

2018年6月28日

株式会社 東光高岳

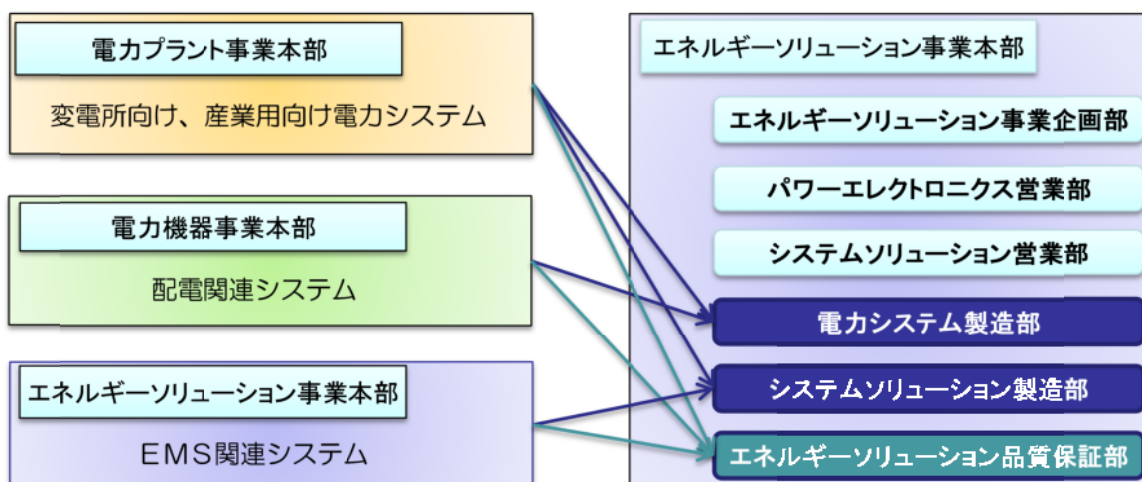
当社は、「東光高岳グループ 2020 中期経営計画」を見据え、電力システム事業の強化を目的として、2018年6月28日付で、以下の組織統合を行いました。

＜組織統合の内容＞

これまで当社では、電力プラント事業本部、電力機器事業本部、およびエネルギーソリューション事業本部の3部門に、システム関連事業を顧客別に配置していました。

このたび、電力会社向け特高送変電から一般需要家まで電力ネットワーク全体を広くサポートするシステム提案・開発を推進するため、下記のシステム関連製品の開発・生産部門を、エネルギーソリューション事業本部に統合しました。

- ・ 電力プラント事業本部システム製造部（保護制御装置、SCADA※1、監視制御システム等）
- ・ 電力機器事業本部配電機器製造部の一部（配電ネットワーク関連機器）
- ・ 上記に関わる品質保証部門



＜組織統合の目的＞

- ・ハードウェア、ソフトウェアなどの最新 ICT 技術へのリソース（技術・人材）の有効活用
- ・SCADA 等システム商品の提案、開発のスピードアップ
- ・エネルギーソリューション分野で保有しているクラウドビジネス、iNC 基板等の先端技術の、電力機器事業分野への活用

IoT、AI といった新技術が登場し、より複雑・高度化を増す市場ニーズに対応し、次世代の電力システムを俯瞰したトータルソリューションをご提案してまいります。

以上

※1. 電力系統監視制御システム